

## 第75回 体育祭(2024.9.15)

去る9月15日(日)、第75回体育祭が開催されました。台風13号の影響が心配されましたが、当日は晴れのち曇り、予定通りのスケジュールで無事行うことができました。

優勝旗と両軍応援団の入場からスタート。本校では南九州出身者を紅軍、それ以外の地域を白軍として優勝を争います。選手宣誓は中学1年生の紅軍・白軍代表。凛々しくもあどけなさが残る声に、会場が和みます。開会式の最後は、紅軍応援団長・吉崎君による「挑戦状」と白軍応援団長・古井君による「応戦状」の応酬。この中で、笑いを誘う寸劇と、両軍美術班が腕を振るったやぐらの絵が披露されました。

午前の部は、種々の個人種目とともに、高校生全員が協力して速さを競う「大玉転がし」、緊張感あふれる攻防に手に汗握る、高校「綱引き」、闘争心がぶつかり合う、中3・高1「騎馬戦」、4人一組で息を合わせ、抱えた棒を運ぶ、中1・2の「棒渡しリレー」、中・高の選抜メンバーが競い合う「紅白リレー」などの団体種目が行われました。また、各部活動がパフォーマンスを披露し、リレーで競う「クラブ紹介、クラブリレー」も行われました。

昼休みには遠来のご家族とお弁当を囲む生徒の姿も多く見られました。

午後の部は、「応援団合戦」からスタート。両軍、百数十名の応援団がそれぞれ、学欄隊・袴隊などの各隊ごと、または団全体で、各25分に渡って種々の演舞・ダンスを披露しました。応援団は、三週間足らずの限られた準備期間の中で必死に練習。当日はその成果を見事に発揮しました。中1(紅軍は“チアボーイ”、白軍は“白虎隊”と呼ばれる)の踊りも呼び物の一つで、観客の皆さんを大いに楽しませていました。

その後は、意外に戦略がものを言う、高校「玉入れ」、複数の綱を取ったり取られたりがスリリングな、中学「綱取り」、応援団幹部の意地を賭けた「応援団リレー」を経て、最終種目「棒倒し」。午前中の騎馬戦同様、全国的には近年あまり行われない種目ですが、本校では厳しいルールを設定し、多数の教員審判を配置して、安全に留意して続けています。男子校の体育祭を締めくくるにふさわしい、気迫に満ちた勝負が展開されました。

ライバルの健闘を称える、両軍応援団のエール交換の後、閉会式へ。フィールド・トラック競技の優勝者への表彰に続き、結果発表。やぐら上に得点が掲示され、白軍の優勝が告げられました。

ドミンゴ校長の講評では、恒例となった両軍団長へのインタビューがあり、白軍団長・古井君は「優勝旗は皆の思いが載っていてずしりと重い」、紅軍団長・吉崎君は「ライバルとして本気でぶつかり合えたことに感謝する」とそれぞれの思いを述べました。お互いへのリスペクトを込め、ハグする姿が爽やかでした。

ノーサイドを迎えた両軍が、肩を組んで高らかに歌うラ・サール讃歌がグラウンドに響いた後、両軍の健闘と実行委員の尽力を称賛する西原PTA会長の音頭で万歳三唱し、体育祭は締めくくられました。

本校体育祭の運営は生徒実行委員が担います。その周到な準備と入念なりハーサル、委員諸君の熱意により最後まで時間通りに体育祭は運営されました。

台風10号の影響で、体育祭の直前に3日間の休校を余儀なくされ、タイトなスケジュールでの準備に、紅白両軍及び実行委員は例年以上の工夫と努力を要したと思いますが、充実した体育祭となりました。



- ①白軍入場／紅軍入場
- ②選手宣誓／白軍応戦状／紅軍挑戦状
- ③中2 200m走／中学80mハードル決勝
- ④走り高跳び／綱引き





- ①高校400m決勝  
※若い先生も走ります  
／中3騎馬戦
- ②中2棒渡しリレー  
／部活紹介(サッカー部)
- ③紅白対抗リレー ゴール
- ④体育祭実行委員会一同  
※順調な進行は  
彼らのおかげです  
※次ページ/その次のページ  
応援合戦 白軍/紅軍









- ①高校玉入れ／中学綱取り
- ②応援団リレー アンカー団長の力走
- ③高校3年棒倒し
- ④優勝旗授与  
／紅白全員で肩を組み、ラ・サール讃歌斉唱

